

第 12 回 大腸癌プロジェクト研究「大腸癌腹膜播種の Grading」議事録

研究代表者 固武健二郎（栃木県立がんセンター）

日時 第 85 回大腸癌研究会・2016 年 6 月 30 日（木） 11 時～12 時

場所 グランフロント大阪コンベンションセンター ルーム 2

参加者 田尻（久留米），前田，佐藤（藤田），板橋，小川（女子医），能浦（大阪労災），三吉、安井（大阪成人病）， 亀山，中野（新潟），末山（防衛），木下（愛知がん），石原，川合，野澤（東大），諸橋（弘前），牛込（東邦大森），須藤（山形県中），幸田（帝京ちば），小山（奈良），天野（埼玉医大医療センター），志田（国立がん），亀山，川崎（ベルランド），五井（福井），坂本（熊本），諏訪（横浜市立総合医療センター），橋口，端山（帝京）、中山（名古屋）、堀江，佐藤（国際医療センター）、古畑（札医），河田（京大），高橋（駒込），松岡（杏林），問山（三重），固武，小澤（栃がん），小林（広尾） 順不同・敬称略

議題 1 前回会議議事録案の承認

- ・ 前回議事録が承認された。

議題 2 腹膜播種の prospective study（観察研究）の進捗状況

- ・ 2016 年 6 月末現在の登録症例数は 125 例であった。
- ・ 2016 年 12 月 31 日にて 150 例に達しない場合でも，症例集積は終了することが確認された。
- ・ 研究成果発表の優先権は登録症例数の順とする原則に変更はないが，研究テーマは広く募集し，内容が重複する場合には症例数による優先権で採否を決定すること提案され，現時点で症例数第 1 位のベルランド総合病院（亀山先生），第 2 位の国立がん研究センター中央病院（志田先生）による賛同が得られた。
- ・ 一方，橋口委員（帝京大学）からは研究テーマを事務局が提案して登録症例が多い施設に割り振ることが提案された。

議題 3 腹腔洗浄細胞診の prospective study（観察研究）について

- ・ 症例登録期間を延長した改訂プロトコールが大腸癌研究会倫理委員会にて承認された。各施設の倫理委員会での承認後に症例集積を再開する。

議題 4 腹膜播種の retrospective study（症例集積研究）の集計解析結果について

- ・ 最近 6 か月に英文誌に 2 論文（いずれも佐藤美信先生・藤田保健衛生大学）が掲載された。

本研究の目的である規約改訂への提案を行うべき時期となってきた。Prospective studyの成果のみならず、既に論文化されている後方視的研究の成果も取りまとめることの必要性が委員長から提言された。

(文責：研究事務局・小林宏寿)